

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	下水道使用料徴収事業	所管	下水道部 下水道総務課
			Tel 2998-9213

事業の目的 (何の為に 行うか)	下水道施設及び下水処理場の維持管理費に充てるため。
------------------------	---------------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	汚水を公共下水道に流入させている住居、事業所等(月平均)	対象とした数	135,681	件
		実際に 利用した数	135,681	件

活動の内容	(何を したか)	①水道水を使用した場合は、検針、納入通知書の発行などを含む徴収事務を水道部に委託している。 ②水道水以外の水を使用した場合は、下水道総務課で検針し、下水道使用料のみの徴収事務を行っている。 ③下水道使用料の計算方法は、基本料金を設け、従量累進制を採用している。							
活動実績	項目名	収入額	2330558	項目名	568	項目名		項目名	単位
			----- 単位 千円	(年間:水道水以外)	----- 単位 件				----- 単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	307,747	300,720	314,811	928.5

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	現年度分収納率	収納額/調定額(収入すべき額)	100	97.5	97.5
			----- 単位	----- 単位	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕							
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止							
	予算	現状どおり 増額 * 減額 終了							

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了								
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了							
	予算	現状どおり 増額 減額 終了							

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	080100	TEL	2998-9213
事業コード	080104	下水道使用料徴収事業	下水道部 下水道総務課			
開始年度	昭和 34 年度	→	終了年度	平成 年度		
		グループ	業務担当			

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令
	分野別計画・指針	なし			下水道法第20条、所沢市下水道条例第14条
	関連・類似事業	水道事業(水道部営業課)			
	総合計画の体系	政策	第2章 安全・安心で快適な住みよいまち	施策	6節 下水道
			中柱	2 維持管理の充実	小柱
・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 38 位					
・実施計画における位置づけ… H19 *** H20 ***					
行政改革大綱における行動計画への位置づけ					
コード	3131	市税等収納率の向上	コード	3132	収納率向上のための仕組みづくり
コード			コード	3231	公営企業の経営健全化
事業開始の背景	新所沢地区の団地の下水処理の費用をまかなうため、昭和34年3月13日「所沢市下水道条例」を公布・施行し、同年4月1日下水道使用料の徴収を開始した。				

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)							
	下水道施設及び下水処理場の維持管理費に充てるため。							
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方				
	汚水を公共下水道に流入させている住居、事業所等(月平均)			汚水を公共下水道に流入させている件数(月平均:事業所を含む)				
	対象数	単位	平成 18 年度	133,338	件	利用数		
		平成 19 年度	135,681	件	単位			
		平成 18 年度	133,338	件		平成 19 年度	135,681	件
事業の具体的な内容及び実施方法								
①水道水を使用した場合は、検針、納入通知書の発行などを含む徴収事務を水道部に委託している。								
②水道水以外の水を使用した場合は、下水道総務課で検針し、下水道使用料のみの徴収事務を行っている。								
③下水道使用料の計算方法は、基本料金を設け、従量累進制を採用している。								

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input checked="" type="checkbox"/> 二次評価 >>					
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )				
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
平成19年度中に改善した点						
前年度に水道水以外の水を使用する場合の検針業務について、効率的に検針するため公用車のルート見直しを行ったが、新規利用及び廃止に伴い、再度検針ルートの見直しを行った。						

⑤経費	《会計種別》	特別会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		300,689	307,747	313,290	
	決 算 (見込み含む)		295,498	300,720		
		(嘱託職員) (臨時職員)	( 人) ( 人)	( 人) ( 人)		
	正規職員人件費		1.75 人 16,100	1.50 人 14,091	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。	
	公債費					
	事業費合計		311,598	314,811		
	財源内訳	一般財源		311,598	314,811	313,290
		国・県支出金				
		受益者負担金				
市債						
その他						
市民一人当たり(単位:円)			922.2	928.5		
利用数一単位あたり(単位:円)			2,336.9	2,320.2		

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	収入額	下水道使用料	千円	2,289,443	2,330,558	2,309,538	
		納入通知書送付(年間:水道水以外)	隔月	件	559	568	580	
	成果分析	現年度分収納率	収納額/調定額(収入すべき額)	目標値	100	100		
				実績	97.2	97.5		実績値の拡大を図る1
%				達成率	97.2	97.5		実績値の縮小を図る2 1

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	市(水道部及び下水道部)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題	新規利用者を登録する業務については、関連する他課とも連携する必要がある。また、自家水利用世帯(事業所等)が増加傾向にあるので、検針ルートの変更などを柔軟に対応する必要がある。				
⑧二次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)		
	平成20年度における目標設定	自家水利用世帯(事業所等)の徴収率	100%	平成20年度	
	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )			
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input checked="" type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由					
水道料金と下水道使用料を合わせて徴収することにより、単独で徴収事務を行う場合と比較すると、市民への理解やコストの削減を図れる。さらにコストの削減を図るため水道部と協議していく。					
評価日	平成20年6月4日	記入者職氏名	下水道総務課長 高橋 正信		

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性					
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	評価理由	評価日				
	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い
優先度評価	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		評価理由	評価日			
A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業						
B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業						
C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業						

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード	
	◎個別計画				
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード	
	基本目標				
	主要課題				
施策の方向					